

2015 明治安田生命 J2 リーグ  
第 16 節

vs. 水戸ホーリーホック

5/31 18:00 kick off

@岐阜メモリアルセンター  
長良川競技場

## 2015J2

### ■順位表■第 15 節

勝点、得失点差、得点、失点、  
岐阜戦の戦績（岐阜から見て）

1	大宮	31p	+14	23	9	H●
2	金沢	29p	+12	21	9	H●
3	磐田	29p	+9	24	15	
4	千葉	28p	+11	23	12	
5	長崎	28p	+10	23	13	HO
6	福岡	27p	+4	20	16	A△
7	札幌	26p	+7	19	12	
8	C大阪	22p	+8	25	17	H●
9	東京V	21p	+1	15	14	A●
10	横浜FC	21p	-2	16	18	
11	愛媛	20p	-3	16	19	HO
12	岡山	19p	+4	14	10	A●
13	讃岐	19p	-1	11	12	HO
14	北九州	18p	-6	17	23	A●
15	群馬	17p	-8	12	20	
16	栃木	16p	-5	12	17	H●
17	京都	15p	-7	16	23	H△
18	徳島	14p	-6	10	16	A●
19	岐阜	14p	-16	15	31	---
20	水戸	12p	-7	11	18	
21	熊本	12p	-12	11	23	AO
22	大分	11p	-7	13	20	A●

## 次回HomeGame

第18節 vs. コンサドーレ札幌

6/14(日) 13:00

@岐阜メモリアルセンター  
長良川競技場



本庄工業株式会社

<http://www.honjo-woodream.com/>

## 岡田歯科医院

岐阜市加納新本町1-23

tel:058-273-8998

## ALADDIN

何も無い店だけど..

心の花が咲く..

何も無い店だけど..

心癒される..

忘れかけていた喫茶店がある

岐阜市昭和町3丁目(木ノ本公園東)

## today's guest : 水戸ホーリーホック

2014 J2 12勝14分16敗 勝ち点50:15位

### 直近の対決と結果

2014/10/19

J2 - 37節@長良川

岐阜 0-2 水戸

### ここ3試合の公式戦の結果

FC岐阜	水戸ホーリーホック
2015/05/24 J2-15節@長良川 岐阜 0-5 大宮	2015/05/24 J2-15節@K sスタ 水戸 0-2 京都
2015/05/17 J2-14節@水前寺 熊本 1-2 岐阜	2015/05/17 J2-14節@K sスタ 水戸 1-1 大分
2015/05/10 J2-13節@長良川 岐阜 2-1 愛媛	2015/05/09 J2-13節@ヤマハ 磐田 2-1 水戸

●5/24(日)第15節、ホームに大宮を迎えて、2009年シーズン以来そしてラモス監督体制初となる3連勝を懸けて臨んだFC岐阜。しかし、#2阿部正紀、#15ヘニキそして#24難波宏明の主力3名を欠いては、首位を狙う(昨年J1の)大宮には残念ながら実力かなわず、前半から次々と失点を許し、また1点も返せないまま、結局0-5という厳しい結果での完敗となった。やはり3連勝そして上位チームの壁は高く厚かった。ここは謙虚に、自分たちのチームの現状を見つめ、まだ3連勝できる実力はないのだと、そして上位を狙うチーム力はなく残留争いをしているのだという、気持ちの引き締めをしておきたい。そしてまた、この敗戦が糧となって、守備を始めとするチームの問題点がしっかり修正されることを願いたい。今節は下位チームの多くが勝ち点を得られなかったので、FC岐阜は順位を一つ落としただけの19位。最下位(大分)が勝ち点3差にいる(つまり残留争いから抜け出せていない)状況は変わらず、一方で上位は3差が15位(群馬)、6差が11位(愛媛)と少し離されてしまっている。

さて、その今節の対戦相手は、勝ち点2差で岐阜を追いかける20位の水戸ホーリーホック。現在、水戸は5試合未勝利であり、また岐阜から見れば(現在の)水戸は下位の対戦相手なのだが、全く油断できる相手ではない。水戸との通算対戦成績は7勝3分6敗、26得点26失点とほぼ互角なのだが、なんと直近3年間では6戦未勝利かつ4連敗中、5得点15失点と散々な戦績に終わっている。当然、水戸は「岐阜に勝利すれば順位が逆転できる」という意識を持ち、順位浮上のきっかけとするために、この試合に全力で懸けてくるだろう。この水戸をホームに迎える岐阜は、受け身にならず最後まで全力で闘い、今度こそはリベンジを果たすことが求められる。前回(水戸に)勝利したのは、2011年8/21(日)、雨の降る中でのロスタイムに、#17S野垣内俊がヘッドで決勝点を奪った劇的な試合だった。#17野垣内には、その時の活躍の再現を今回も期待したい。また、(2013年には水戸に在籍していた) #24FW難波宏明も、普段以上に燃えているだろう。そのゴールにも期待したい。水戸の要注意選手は、まずは現在4得点を挙げている#39FW馬場賢治。彼が得点した試合では、水戸は負けていない(2勝1分)。岐阜のCB陣には(大宮戦での反省を活かして)彼を自由にさせないよう頑張ってもらいたい。また、水戸の司令塔#10MF船谷圭祐には、(岐阜との試合で)2試合連続でゴールを許している。彼に決定的な仕事をさせないことも、勝利のためには重要だ。また、今季(東海1部所属の)FC刈谷から「3階級特進」で加入した#4山崎貴雅は、岐阜市出身・岐阜工業卒の選手だ。出場については不明だが、ここ2試合連続でベンチ入りしており、気持ちも相当に高まっているだろう。要注意選手だ。(なお、「ミスターホーリーホック」#1GK本間幸司は怪我により欠場の見込み。)そしてなにより水戸には、岐阜のラモス瑠偉監督とは、共に(ヴェルディで)笑い、共に(ドーハで)泣き、正に苦楽を共にしてきた柱谷哲二監督がいる。お互いのことを熟知している「盟友」そして「闘将」同士の、プライドを懸けた熱い采配にも注目したい。

今節は、(前々節の熊本戦と同様に)下位チーム同士の直接対決となる。「勝たなければならない」そして「勝ち点6が懸かった」試合だ(そして今節は「ダービー」的な「アニ×サカ!!」コラボマッチでもある)。僕らサポーターも、ホーム長良川の利を活かして、最後まで勝利を信じて選手たちを応援しよう。そして、試合終了の笛と同時に、勝利の歓喜を爆発させよう。(ささたく)



「いらっやいませ」より「おかえりなさい」が似合うアットホームな韓国料理店。

『チヂミ屋』はJR岐阜・名鉄岐阜駅から徒歩3分。

休:月曜日

## 投稿募集!!

gidaidohri@  
hotmail.co.jp

## 【第15節】岐阜 0-5 大宮

●実力差通りの結果。やってるサッカーの質が違うからどうしようもない。

最初10分くらい様子見してて、パチッとスイッチ入れるところは凄かった(特に家長)。後半は大宮さんも省エネモードだったし、1点くらいは返してほしかったんだけどね。意見が分かれる所だろうけど、こういう展開になってしまったら、今日は難波を使わなくて良かったと思うし、そう思いたい(来週その分バリバリやってくれればいいし)。とにかく大宮さんJ2にいちやだめですから、とっとと上がって下さいませ。しかし4点リードして後半からムルジャ入れてくるとか無慈悲ですか(苦笑)。

点差はついてしまったけれど、選手たちは最後まで下向かずにやり切ろうとしていた。そこの部分は評価してあげたい。(岐阜の誇り)

●「ぐうの音も出ない。」という慣用句、あるいは言い回しがある。それが今も使われているかどうかはわからない。ただ、それを具現化したらこの試合になった。要するに手も足も出なかった。何も言い返せないくらいに徹底的にやられてしまったワケで、もう、素直に参りましたという他はなく、ほとんどの部分で納得の敗戦。

現地で見えていた限りでは、前半の入りはなかなか出来なかったように見えたり、実際チャンスもあった。先制点を奪われた後の圭輔のシュートがポストに嫌われる惜しい場面もあった。だが、じゃあ、失点するまでの15分のような試合が出来れば、あるいは先制していれば、さらに言うと先制された後追いついていたら何とかできたか?というのを首を横に振るしかない。録画を見直しても、ウチがイイ入りをしたというよりは、大宮が慎重になっていたという感じが強い。昼間に陸上のイベントがあったためにこの試合がこの日のトリとなり、他会場の結果から勝てば首位に躍り出ることを知っていた大宮が様子をうかがっていたように思える。逆に、それくらい大宮の出来がよかった。ことに家長のプレーは、それを見るだけで入場料を払う価値があったし、そこへ泉澤が絡んでくるコンビネーションと言ったら……。

こちら3バックを敷き、相手ボールの時には司と野垣内も降りてきての5バック。さらには宮沢、圭輔、高地も加えてブロックを作る感じだったが、前半途中で鍵を開けられてしまった。前からプレスをかけても交わされ、引いて守ってもサイドを変えられ、そのうえ一対一で止められなかったらこんな結果もやむを得ない。試合そのものが大宮のプラン通りに進められてしまったという印象。最初は様子を見て、前半の内にリードしたら後は省エネでパワー温存。予定通り?にリードしたんで後半から休ませておいたムルジャ投入。点を取りに行く岐阜に対して、ボールのキープもできるし、裏にも抜け出せて挙句に一人で得点も決められる選手を入れて、無駄なカードやケガに注意。あわよくば、得失点差を優位にしようというプラン通りに得点を決められるという有り様。ホント、好き勝手にやられて見事なまでの完敗。力の差をまざまざと見せつけられました。でも、この大宮に勝てないと上を狙える場所に行けないというのも事実。このことは忘れないでほしいものです。

あ、ほとんどが腑に落ちる敗戦だったけど、一つだけ言わせてください。2点目のセット・プレーの対応。ありや、なんですか?あの失点でほぼ試合の趨勢が決まってしまうました。下位のチームが勝つために、一昨年の神戸戦みたいな耐え抜いてセット・プレーで一発!というのならわかるけど、上位のチームにあんなアッサリやられてはどうしようもないでしょう?アレは弁解の余地なしですよ?選手はもちろん、スタッフも含めて全員で猛省してください。

ま、高い授業料だったとも思って、次節の水戸戦に向けて切り替えるしかないんですけどね。こちら、ヘニキと阿部

ちゃん、そして難波を温存できたと思っておきましょうか(苦笑)。(ぐん)

●試合後に正面出口付近で見ていたんだけど、何だろう、帰っていく観客の皆さんから感じるこの「0-5で負けたとは思えない『ストレスのなさ』」。攻撃に関して「引き出し」の量と質、そしてその使い方。すべてにおいて違い過ぎた。

前半の序盤、大宮のペースは遅かった。「サッカーになっている」ようにも見えた。でも、実は相手がローギアで様子を伺っているだけだった。15分後にギアを上げてきたら4失点。岐阜の右サイド、いつものようにツカサが攻めあがるのはいいとして、その裏をカバーするのはいつものヘニキ・正紀ではなく圭輔と深谷。相対するのは、家長と絶好調売り出し中の泉澤。そりゃズタズタにされても仕方がない(苦笑)。

後半、タクミ&ユートの2枚投入で高地ワンボラの4-4-2に。大宮のミッションが「クリーンシート(無失点)」「カードなし」「ケガなし」になった(と思われる)ことで「仕掛けてくる」ことが減ったこともあってチャンスはかなり増えたり、特別指定の鈴木潤を実戦で試すこともやったり、最後は和道の『大作戦』(←CBを最前線に上げての放り込みサッカー)まで。岐阜は、やることはやった。「なぜ難波を使わない!」という感想を持った方もいるだろう。でも、長いリーグ戦でこれから夏場、0-5を1-5なり2-5にするために難波を投入する必要があったのか?という、ぼくは「使わない」というラモス監督の選択肢には納得出来る。

岐阜が特に不甲斐ないサッカーをしたわけでもなく、この点差がついても観客が「納得」して帰路に就く。それだけの差があった、という試合。(吉田铸造)

## 組織運営体としてのFC岐阜について、一言。

●感じるのは私だけかもしれませんが、後援会とフロント(会社本体)との連携が、今一つかみ合っていないように思えます。例えば企画商品で、トートバッグ販売の重複。選択の幅が広がる点ではよいのですが、生産ロット分散による単価UPで、購入者の負担が増えてしまいます。

また、後援会キャラクター設定時のモチーフ起用で飛騨牛を使用していますが、本来、ホームタウン内の地域が限定されるキャラ等の使用は、控えられていた(又は禁止されていた?)はず。FC岐阜は、岐阜県内全域がホームタウン。なので、花のリングは問題なし(Jの公式キャラではないので、あまり堅苦しく考える必要はないかもしれませんが)。それから、ラモスLAUNDRY商品の販売については、ラモス個人のブランド商品であるだけに、その扱い(収支配分等)も含め慎重に取り扱う必要があるはずだが、他の商品も含めその点は大丈夫でしょうか?これらの案件は、事前の後援会とフロントとの打合せ確認があれば、その辺はある程度配慮されたはず。話し合っておられたのなら、その内容が不足と思います。県を中心とする地方自治体との関わり合いも不安な面を感じます。スタジアムの改修については、周知のタイミングから考えて事前に県からの相談があったとは思えません(スタッフ繁忙?による単なる告知遅延なら論外ですが)。また、各自自治体からフロントへ出向していますが、そのほとんどが2~3年程度で出向元に戻ってしまうため、出向中の業務分担や引継ぎなどで、無駄が生じていないでしょうか?ただでさえ、ブラック?とささやかれる(失礼!)スタッフの就業実態の中、効率的な業務遂行・改善のため、3者の緊密な連携は必須だと思います。

FC岐阜を、継続して発展させていくためにも、多面的視点からの検証と対応を望みます。(ミスター珍道)